

平成 年 月 日

平成 26 年度環境技術実証事業 閉鎖性海域における水環境改善技術分野
実証対象技術への選定希望について

環境技術実証事業 閉鎖性海域における水環境改善技術分野の平成 26 年度実証対象技術に応募する意向を持っておりますので、技術の概要等を提出します。

企 業 名 :

担当者連絡先

所属部署 :

担当者氏名 :

住所 :

電話番号 :

FAX番号 :

e-mail アドレス :

技術・製品の名称 :

1. 技術の概要

技術の主な目的（該当するものに☑）

1. 水質の改善 2. 底質の改善 3. 生物生息環境の改善

技術の模式図：設置後の状況等、技術の適用の様子がわかるよう、適宜模式図等を示してください。

原理：科学的機構を簡潔に示してください。

開発目標：どのような条件において、どのような機能を発揮することが期待された技術か、可能な限り具体的に提示してください。

既存技術との対比：既存技術に対する、本技術の特徴、改良点が明確にわかるように示してください。

薬剤等及び生物の利用及び管理（それぞれいずれかに☑）

薬剤等を 1. 使用する／ 2. 使用しない

1. の場合、非意図的な拡散の防止方法、副作用を制御する方法について記載してください。



生物を 1. 外部より導入する／ 2. 外部からは導入しない

1. の場合、導入の概要（導入する生物の種類及び採取元等）、非意図的な拡散の防止方法、副作用（移入種問題を含む）を制御する方法について、記載してください。



2. 装置・機器の設置と準備期間、終了後の原状回復

設置状況（もっとも近い項目に☑）

- 1. 次年度に実証対象技術として選定された後に設置予定
- 2. 既に設置済み
- 3. 現在調整中

設置場所： ○○県○○市○○地先海域 （1. の場合は候補地があれば記載）

設置情報（該当するもの全てに☑）

設置箇所 海面 海底 海岸
 防波堤・護岸等の工作物本体 防波堤・護岸等の工作物近傍

- 実証対象技術の設置に伴い、現場の改変を要する（ 海底 海岸）
- その他、海岸、海面、海底の占有申請の際に留意すべき事項があれば、記入してください。



準備期間

事前調整期間： ①関係行政機関（港湾管理、海上保安部局）：

②漁業関係団体：

組み上げ・設置にかかる期間：

試験終了後の原状回復の方法と、原状回復までの期間：

実証試験終了後、実証対象技術の一部または全部について、回収等をせずに残置することを前提とする技術については、それによって問題が生じないことを説明してください。（例：生分解性素材を使用しているため回収しなくても悪影響を与えない 等）

3. 開発状況・実績

もっとも近い項目に□をつけてください。

- 販売・納入実績は無いが、既に実用可能な段階にある。
- 販売・納入実績がある。

具体的に

[]

4. 技術の先進性

特許・実用新案等の申請・取得状況、論文発表、受賞歴等を記入してください。特に特許については、特許番号、現在の特許権者とその持分を明記してください。

5. その他（特記すべき事項）

[]

6. 安全性、生態影響試験結果について

薬剤等を用いる技術については、

- 病原性、有害物質の產生性等の、人やその他の生物に対する影響についての文献調査結果や分析結果、
- OECD テストガイドラインに則った生態影響試験結果

を提出してください。生態影響試験については、別添2 本実証試験要領9ページ（表3）に示してあります。

生態影響試験に関しては「新規化学物質等に係る試験を実施する試験施設に関する基準」（化審法G L P基準）に適合する試験機関による試験結果を、申請の際に添付資料として提出してください。

機器・装置からの成分の溶出の恐れがある技術については、溶出試験の結果を、申請の際に添付資料として提出してください。

これらの文献調査や試験は、実証申請者の自己負担となります。この試験結果が添付されない場合、その実証申請は受け付けられない場合があります。